



2018 年臨床漢方薬理研究会大会 (第 114 回例会)

テーマ

日時
2018 年 12 月 16 日
(日) 10 時 ~ 16 時

武田薬品工業株式会社
京都薬用植物園
京都市左京区一乗寺竹ノ内町 11
TEL 075-781-6111 / FAX 075-781-6115

会場



研究会参加費：3000 円
昼食は各自持参して下さい

参加希望者は以下まで、メールにてお申し込み下さい。

連絡先：臨床漢方薬理研究会代表
日置智津子（近畿大学東洋医学研究所）

〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2

FAX：072-366-6661

TEL：072-366-0221 (3304)

E-MAIL: chioki@med.kindai.ac.jp

主催 臨床漢方薬理研究会
後援 日本生薬学会
京都府女性薬剤師会
京都府薬剤師会
大阪府薬剤師会

薬剤師研修センター集合研修会
(研修認定薬剤師/漢方薬・生薬
認定薬剤師：実習研修 1 単位
集合研修 2 単位)

100 歳健康社会に向けて 植物生態系から学ぶ生命力向上法

プログラム

10 時 ~ 12 時

薬用植物 その生態観察
「薬用植物はいかにして冬を越すか？」
観察指導 武田薬品工業株式会社
京都薬用植物園

13 時 ~ 14 時 30 分

- ✿ 「身近な漢方薬を近代科学で見る 傷寒論から」
日置 智津子 近大東洋医学研究所 講師
- ☆ 「大学での基礎研究をもとにした特定保健用食品
／機能性表示食品の開発」
森川 敏生 近大薬学総合研究所 教授

14 時 30 分 ~ 16 時 (講演と質疑)

「臨床研究法とその影響
～最近の業界変化を交えて～」

小川武則 シミックホールディングス株式会社
執行役員 経営企画部

ご案内

古今未曾有の自然現象が、日常の事となりそうな時代の到来が予測されています。体温より高い気温の夏(猛暑)、度重なる台風、豪雨や竜巻、地震等々、自然のエネルギーが炸裂しているような有様です。今年は特に高齢者には厳しい自然環境と思われます。地震や台風で被害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

一方、日本では人生 100 年時代に向けた構想会議が練られています。生活の質だけでなく、今まさに人生の質(QOL: Quality of life)が確保できる健康寿命の延伸を目指して、心身一如を意識した東洋医学の近代的実学化を目指し、学際的展開をいたします。生薬植物は、冬という厳しい環境をいかに生きているのかを、観察いたします。生薬植物を越冬させる時、栽培時の要点など、お教え頂きます。健康で 100 年生きるには、将来的には、東洋医学的視点からの生理生態学研究の必要性があると考えられます。また、薬用植物を活用したさらなる食品や医薬品等の開発なども重要になるのではないのでしょうか。2018 年から臨床研究法(平成 29 年度法律第 16 号)が施行されました。基本的項目から薬事的側面などについて、お話頂きます。